

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名：保育内容応用指導法 英語表記：Applied instruction method of Nursing ナンバリング：2310		単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：瀬戸奏、小川弥輪 担当形態：クラス分け、複数
科目／系列	領域及び保育内容の指導法に関する科目 ／保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等／教科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）／		
【授業の到達目標及びテーマ】 1. オペレッタに取り組み、保育内容5領域を総合的に捉えた指導法を身につけることができる。 2. 台詞、歌、動きの練習と衣装や大道具、小道具制作をとおり、想像力、創造力、表現力を身につけることができる。 3. 協力してひとつの作品を作り上げる過程の中で、協調性・社会性を高めながら、問題解決能力や課題遂行能力を身につけることができる。			
【授業の概要】 保育内容5領域に対応した横断的、総合的指導法を学習する授業としてオペレッタに取り組む。台詞、歌、それに伴う動き、衣装や大道具、小道具制作、様々な体験の中から、想像力、創造力、表現力、協調性が養われ、幼児教育者としての資質を高めていく。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】 1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。○ 2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。 3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。○			
【思考・判断・表現】 1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。 2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。 3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。○			
【関心・意欲・態度】 1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。 2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。○ 3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			
【授業計画】 第1回：オリエンテーション (授業の進め方、この授業で何を学ぶか、演目の決定) 第2回：作品の理解、配役・舞台制作担当決め 第3回：歌、台詞の練習（役ごとに練習） 第4回：歌、台詞の練習（場面ごとに練習） 第5回：歌、台詞の練習（全体練習） 第6回：歌、台詞の練習後、意見交換 第7回：歌、台詞に動きをつける練習（役ごとに練習） 第8回：歌、台詞に動きをつける練習（場面ごとに練習） 第9回：歌、台詞に動きをつける練習（全体練習） 第10回：歌、台詞に動きをつける練習後、意見交換 第11回：小道具、大道具の制作		【授業時間外の学習】 (各回指示した内容を1時間程度) 演目に関する資料収集 時代背景を調べる 原作を読む 個々の役割に応じて 歌、台詞、動きの自主練習 衣装、小道具、大道具制作	

第12回：小道具、大道具を使用しての練習（場面ごとに練習）		ステージスタッフとの打ち合わせ
第13回：小道具、大道具を使用しての練習（全体練習）		
第14回：衣装をつけ、小道具、大道具を使用しての練習 （撮影－演出方法の工夫と改善）		
第15回：リハーサル（全体練習）		
定期試験：なし		
【授業の方法】 実技、演習。履修者全員で話し合いながら作り上げていく。毎回提出する授業振り返りシートにコメントを入れてフィードバックする。		
【テキスト】 決定演目の台本		
【参考書・参考資料等】 演目の原作や演目に関する資料 学生自身も、表現力を高めるための関係資料を収集し情報交換を行う。 『幼稚園教育要領』（最新版）、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（最新版） 『保育所保育指針』（最新版）		
【学生に対する評価】 授業振り返りシート（40％）、授業参画度と発表（60％）を総合的に判断して評価する。 ※ルーブリック評価表を学生が確認できるように開示し、それに基づいて評価を行う。		
【履修上の注意】 発表に向けて、意欲的に取り組むこと。		
実務経験の有無：無	実務経験：	
【実務経験を生かした教育内容】		

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名：保育内容応用指導法 英語表記：Applied instruction method of Nursing ナンバリング：2310			単位数：1単位 (半期) 演習 担当教員名：小日向千秋 担当形態：クラス分け
科目／系列	領域及び保育内容の指導法に関する科目 ／保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等／教科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）／		
【授業の到達目標及びテーマ】			
1. 美術分野という視点から保育内容を捉え、各自がテーマを決めて自由制作を行うことができる。 2. 自身の興味を追求し、豊かな感性とそれに見合う実現能力を持つことができる。 3. 各自が企画・制作をおこない、自主性と実行力を身につけながら指導的能力を充実させることができる。			
【授業の概要】			
美術分野という視点から保育内容を捉え、各自がテーマを決めて自由制作を行うことにより、創造力と表現力、自主性と実行力が養われ、幼児教育者としての資質を高めていく。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			○
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			○
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			○
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			
【授業計画】		【授業時間外の学習】	
第1回：ガイダンス（授業の進め方、この授業で何を学ぶか） 第2回：テーマの決定・研究・調査 第3回：保育現場における制作活動に関する指導案作成 第4回：制作1に関する具体的な資料集め、材料準備 第5回：制作1－① 下書き、下絵、設計図、型紙づくり 第6回：制作1－② 裁断、組み立て等 第7回：制作1－③ 制作続き 第8回：制作1－④ 制作1の完成、発表、ミーティング 第9回：制作2に関する具体的な資料集め、材料準備 第10回：制作2－① 下書き、下絵、設計図、型紙づくり 第11回：制作2－② 裁断、組み立て等 第12回：制作2－③ 制作続き 第13回：制作2－④ 制作続き 第14回：制作2－⑤ 発表を見立てての制作 第15回：制作2－⑥ 制作の仕上げ 定期試験：なし		テーマを考える テーマに関する情報を集め、アイデアを得る 制作に関する資料を集める材料の調達を行う。 制作プランニングに従い、常に、授業外でも完成に向けて、制作、資料収集をする。 上記に関し1～2時間程度の時間が必要である。 発表会場スタッフとの打ち合わせ。 発表会場でのリハーサル、展示準備。 表現発表会での上演、展示	

【授業の方法】 実技、演習、フィールドワーク、プレゼンテーションとし、フィードバックを行う。期間の中で2点(2分野)以上の作品を完成させること。制作した作品は表現発表会において発表する。	
【テキスト】 なし	
【参考書・参考資料等】 テーマ制作に関する資料を各自用意。図書館、情報機器等での資料収集を各学生の内容ごとに適宜指導する。幼稚園教育要領(最新版)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領(最新版) 保育所保育指針(最新版)。	
【学生に対する評価】 提出作品(40%)、授業参画度(20%)、創作への意欲(20%)、レポート(20%)をルーブリック評価表参照の上で総合的に評価する。	
【履修上の注意】 材料は、基本的に各自で購入すること。 与えられた課題制作とは異なるため、自主性と積極性が強く求められる。 授業終了時に必ずかたづけ、清掃を行うこと。	
実務経験の有無：無	実務経験：
【実務経験を生かした教育内容】	